

日足では、今年春の上げ分を全て消してしまった商品市場である。また銘柄によっては、相対力指数が 20 ポイント台まで低下しており、かなりの売られ過ぎを示唆。

よって、普通の相場ならば、やはり今は底値圏であろう…と見る向きも多いと思われる。当方もそういう考え方を基本に置いてきた。

しかしながら相場は、GW 明けの急落一発では収まりきれず、なお崩れの様相を見せてきているわけだ。こうなると、**欧州経済危機での急落は、思った以上の悪さなのかもしれない。**

そうではない事を祈るのみだが、相場の場合は祈っても儲かるわけではないので、逆に万が一の崩壊場の場合を考えざるを得ない。崩壊するなら、売りで取るしかないわけなのだから。

その場合に、やはり**参考になるのは 2008 年のリーマンショックからの大暴落**であろう。そういう観点で考えるため、今回のチャートは 2008 年の暴落を含んだ、週足をアップする事とした。

繰り返すが、今回の下げが、例えば当時の原油価格のように 140 ドル→30 ドルまで下がるような事を、まだ想定しているわけではない。また世界経済のためには、あってはならないとも考えている。

しかし相場だけは、想定外の動きがあるからこそ相場なのであり、評論家でもあるまいし「誰にも予測できなかった」と言い訳してもしようがない。損失は自己責任にしかならぬわけだから。

この週足チャートを見ると、日足チャートとはまた全く違って見えるはずだ。

本来チャートは長い月間足、週足、日足の順で見ると、まずは大勢を把握し、その後に中勢、そして短期と把握して行くものだ。日足だけでは、やはり「木を見て森を見ず」にもなりかねない。

しかし最近のトレーダーは、一日の中で売り買いを完了させ、明日のことなどもう知らぬ…という人も多いのも事実。そういう張り方は張り方で構わんわけだが、それは単なる売買テクニックであり、相場観とは違うんじゃないかというのが当方の考え方だ。若者じゃないと、そういうバタバタした動きなど疲れてしまって持たぬし。

またこの日計り商いというのは、流動性が高く、いつでも売り買い出来る市場でないと通用しないシステムである。昨今のような出来高になってしまうと、ちょっと難しい面も多い。

そういう事を考えた場合は、やはり相場は王道の大勢観から…というのがベターなのだろうと考えている。

## [貴金属]

### 今週の金の値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
5月14日	¥4,062	-3	¥4,066	-3
5月15日	¥3,993	-69	¥3,995	-71
5月16日	¥3,961	-32	¥3,963	-32
5月17日	¥4,015	54	¥4,013	50
5月18日	¥4,013	-2	¥4,014	1

金相場は、先週号においては『もう一段安して4,000円の大台を割る可能性が高いと見るが、中長期的には買い場であろう。ユーロ安に対するドル高・円高は単なる消去法であり、また通貨全体が弱い事が買い材料視される相場はやって来る、との見方である』とコメントした。

今週の相場展開は、ついに4,000円の大台を割り込み、安値では3,958円(5/17)まで下落。そこからは戻して4,000円台を回復しての終了だが、戻ると売られる印象が強かった。

○東京金週足

…削除済み…

今週は、大勢を見るために週足のアップだ。2008年秋には3,363円→2,104円まで1,259円の下げを演じたわけだが、現在の下げ相場もそれ以来の一目均衡表の雲の下抜け相場である。

下げ幅は昨年9月の高値4,754円→3,808円までで946円。今また4,000円を割り込んだ相場は、まだそこネックラインは割り込んでいない。

割り込んでいないが、割るようなら同じ幅の下げで3,495円。当時の下げ率37%での計算ならば、ズバリ2,520円まで下がる。また今年の戻りの倍返しの下げなら、ズバリ2,962円となる。

日足では底を打っていてもおかしくない格好だし、…中略…

2,500円はオーバーかもしれないが、3,500円だって今から500円である。1枚=50万円替えでは、買い方は耐えられるとも思えん。

おそらく最期は大インフレ相場で5,000円台になる相場だとは思っているが、大暴落してから上がってゆくという可能性も頭の隅には置いておきたい。お金が無くなってからそうなるも、手遅れであるゆえ。

目先は6/17にはギリシャで再選挙が行われる事が決定したわけで、週末はオランダ仏新大統領も「ギリシャはユーロ圏に留まるべきだ」との発言はしたものの、ギリシャが組閣を組めて、更に緊縮財政を受け入れるかどうかが決まらない限り、やはりユーロ不安感が残るものと考えられる。

一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年6月	¥3,909	6月28日	¥4,754	9月7日	¥3,810	12月30日	¥4,013
2012年8月	¥4,506	8月29日	¥4,754	9月7日	¥3,808	12月30日	¥4,013
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,014
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,013
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥3,960	5月17日	¥4,014
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥4,342	4月27日	¥3,958	5月17日	¥4,014

○NY金週足 (5/17現在)

…削除済み…

週末5/18のNY市場は、前日比17.0ドル高の1591.9ドル。ユーロが買い戻されたので、金も買い戻しが出たわけだ。

今週の安値の時点では1530ドル台までであったわけで、貴金属調査会社GFMSが発表した『今年の価格予想レンジは1530～1920ドルで、平均価格は1731ドル』が正しかったのならば、そこで底打ちの可能性も多少は残っている。

ただしユーロ売りが再燃すれば、1200ドル～1300ドルに沈む可能性もまたあるわけで、週末も1600ドル台は壁になった雰囲気もあり、まだ戻り売りの見方も強いだろう。G8で何か強力な買い材料でも出れば別だが、特効薬はQE3しか無いだろうし、すぐにはやるとも思えないし…である。

CFTC発表の5/15現在のファンドのポジションは、…中略…

5/18現在のETF残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、チャートは日足では底打ちにも見えるが、週足では下げ本番はこれからにも見える。悩ましいところであるが、目先は戻り売り方針に分があると読む。

今週のプラチナの値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
5月14日	¥3,764	-24	¥3,783	-29
5月15日	¥3,700	-64	¥3,721	-62
5月16日	¥3,673	-27	¥3,697	-24
5月17日	¥3,742	69	¥3,765	68
5月18日	¥3,698	-44	¥3,723	-42

プラチナ相場は、先週号においては『反転を開始したらすぐにも買いたいが、現状ではまだこの下げトレンドに逆らうのは得策ではなさそう。買いたい価格にはなっているものの、焦らずに待ちたい』とコメントした。

今週の相場展開は、続落した相場は 3,700 円台も割り込み、17 日には戻るが、週末はまた下げて **3,695 円**まで示現。

○東京プラチナ週足

…削除済み…

昨年末の安値 **3,376 円** (12/30) → **4,589 円** (3/14) まで **1,213 円**上げた相場は、現在 **900 円**近い下落中である。

日足では 20 ポイント台まで下げた相対力指数だが、週足ではまだ 36 ポイント台。日足では 3 日も戻れば大きく指数は戻すだろうが、**週足ではまだまだダメな格好だ。**

ともかくプラチナにとって怖いのは、株価が更に下落することである。J マッセイ社は 2011 年のプラチナ需給報告を **13.4 トン**の供給過剰とし、今年 5 月～10 月の価格予想を **1450 ドル～1750 ドル**、平均 **1600 ドル**とした。

**現在、ドルベースでは 1450 ドル台まで下げており、J マッセイの予測によれば底値である。**その通りになれば良いのだが、現在の欧州経済不安が進行して信用収縮懸念が出れば、底割れする可能性も皆無ではないため、手放して信じて良いかが問題なわけだ。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 6 月	¥4,445	6 月 28 日	¥4,770	8 月 23 日	¥3,370	12 月 30 日	¥3,698
2012 年 8 月	¥4,581	8 月 29 日	¥4,726	9 月 7 日	¥3,380	12 月 30 日	¥3,702
2012 年 10 月	¥3,918	10 月 27 日	¥4,570	3 月 14 日	¥3,375	12 月 30 日	¥3,715
2012 年 12 月	¥3,605	12 月 26 日	¥4,582	3 月 14 日	¥3,376	12 月 30 日	¥3,720
2013 年 2 月	¥4,535	2 月 27 日	¥4,589	3 月 14 日	<b>¥3,695</b>	<b>5 月 18 日</b>	¥3,721
2013 年 4 月	¥4,090	4 月 25 日	¥4,141	4 月 27 日	<b>¥3,695</b>	<b>5 月 18 日</b>	¥3,723

○白金－金価格差週足

…削除済み…

週末現在のサヤは、**3,723 円** (プラチナ) - **4,014 円** (金) = **-291 円**。今週も僅かにプラチナの割安は進行した。

**-547 円** (12/5) → **95 円** (3/16) まで拡大したサヤだが、…中略…

**結論として当方の相場観は、J マッセイ社の予測通りなら現在は底値であろうが、ユーロ不安が解消されないとトレンドの反転は難しいのではあるまいか。現状では、まだ戻り売りの道中であると考えたほうが無難だろう。**

[穀物]

今週のコーンの値動き

	7月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
5月14日	¥26,000	-200	¥21,970	60
5月15日	¥25,800	-200	¥21,870	-100
5月16日	¥25,850	50	¥22,050	180
5月17日	¥26,500	650	¥22,670	620
5月18日	¥26,200	-300	¥22,430	-240

まずはコーンから…

先週号においては『ここまで崩れれば、今年の天候相場は不発だったと勝負ありだろう。今後もしばらくは、戻り売り相場が続くものと考える』とコメントした。

今週の相場展開は、21,620円(5/15)まで下落の後、1,000円強の反発。

○東京コーン週足

…削除済み…

25,180円(3/19) → 21,620円(5/15)まで3,560円の下落の後、1,000円は戻したわけだ。ただし週足で見ると、今年の動きは全くのさざ波状態であり、この程度の戻りで底が入ったとか、トレンドが変わったとか言うのは問題外。

おそらく当面は、戻り売り相場に変化はないだろう。2008年の14,000円台まで下がるとは言わぬが、作付面積は75年ぶりの高水準であり、生産高も史上最大の豊作予想だ。期末在庫も多いし、買い材料は中国の買だけで、一体幾ら上がるのか？というところ。

現状でももしも中国が買わないならば、とっくに1万円相場になっていたかもしれない。まあ中国は食生活の変化などで買うのは確実だろうから、今のこの値があるのだろう。そういう考え方である。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年7月	¥28,180	6月16日	¥28,560	8月30日	¥22,110	12月15日	¥26,200
2012年9月	¥27,440	8月16日	¥28,550	9月13日	¥21,930	11月28日	¥25,910
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥25,060	3月19日	¥21,110	1月1日	¥22,340
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥24,890	3月19日	<b>¥20,960</b>	<b>5月15日</b>	¥21,850
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥25,180	3月19日	<b>¥21,350</b>	<b>5月14日</b>	¥22,240
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥23,530	4月20日	<b>¥21,620</b>	<b>5月15日</b>	¥22,430

先物3本が一代安値の更新である。逆ザヤは、新穀・旧穀の関係で致し方無し。

○シカゴコーン週足(5/17現在)

…削除済み…

週末5/18のシカゴ市場は、前日比10.50セント高の635.50セント。国内換算では270円高である。

しかしこれは7月限であり、限月は先に行くほど上げ幅は少なく、上げ材料の主因は大豆との

スプレッドの解消の買いである。チャートを見ても上げ余地は限定的に見えるわけで、逆に下げ余地の方が大きそうだ。

CFTC 発表の 5/15 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、今週の 1,000 円幅の戻りは、また売り場の提供であろう。戻り売りの継続で、2 万円割れを目指す相場であろうと見る。

今週の大豆の値動き

	6 月限(当限)	前日比	4 月限(先限)	前日比
5 月 14 日	¥44,480	260	¥42,410	-460
5 月 15 日	¥44,500	20	¥42,420	10
5 月 16 日	¥46,750	2250	¥42,590	170
5 月 17 日	¥48,530	1730	¥43,450	860
5 月 18 日	¥48,430	-100	¥43,480	30

続いて一般大豆です…

先週号においては『ファンダメンタルズはまだ強いが、そんな事よりも買い過ぎのファンドが投げないと下げ止まらないだろう。すでに天井を打った相場は、戻り売り一貫の相場展開であると読む』とコメントした。

今週の相場展開は、41,770 円 (5/15) まで下落の後、43,000 円台半ばまで 1,500 円超の反騰。

○ 東京大豆週足

…削除済み…

コーンと違って在庫率の低下など強材料がある大豆相場は、国際商品の中では唯一まだ高値圏に値を保っていると言って良い銘柄だ。46,680 円 (4/9) →41,770 円 (5/15) まで 5,000 円近く下げたと言ってもだ。

だが全体の商品が下げてゆく中で、大豆だけ高値を維持できると見るほど、当方は楽観的ではない。原油も金も上昇している中でなら、インフレ相場で大豆が高騰、悪いはずのコーンだって連れ高する…というパターンになろうが、逆の展開では悪いコーンに引きずられると考えたほうが無難だろう。

シカゴのファンド大量買いは、多少減ってきたとはいえ、まだまだ高水準。…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年6月	¥49,820	6月16日	¥49,910	9月5日	¥33,600	12月16日	¥48,430
2012年8月	¥47,450	8月16日	¥50,110	9月5日	¥35,610	12月15日	¥46,300
2012年10月	¥44,250	10月17日	¥45,340	4月9日	¥36,410	12月15日	¥47,120
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥45,750	4月9日	¥36,830	12月16日	¥45,750
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥46,680	4月9日	¥41,050	2月16日	¥44,020
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥45,420	4月16日	<b>¥41,770</b>	<b>5月15日</b>	¥43,480

○シカゴ大豆週足（5/17 現在）

…削除済み…

週末 5/18 のシカゴ市場は、7 月限で前日比 33.00 セント安の暴落で 1405.00 セント。国内換算では 850 円安である。

新穀は 18 セント安程度だが、すでに 12 ドル台まで下落。期近も 15 ドルで天井は打っているのでしょ！という考えは変わらない。

CFTC 発表の 5/15 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、今週の 1,500 円の戻りは、また売り場を提供した相場であっただろう。46,000 円台で天井を打っている相場ゆえ、まずは 4 万円割れを目指している相場であると見ている。

## [コメ]

### 今週のコメの値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
5月14日	¥17,680	530	¥16,500	130
5月15日	¥17,890	210	¥16,290	-210
5月16日	¥17,350	-540	¥16,170	-120
5月17日	¥17,800	450	¥16,000	-170
5月18日	¥17,940	140	¥15,550	-450

#### ○東京コメ週足

…削除済み…

今週は週足をアップしてみたが、上場してからまだ間もないので、本数はこれだけだ。さて、週末は5月限が納会したわけだが、**上場来最高値での落ち**。

受け渡しは岡安渡しのセントラル受け。…中略…

#### 東京コメ一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥14,700	11月21日	¥17,940	5月17日	¥13,440	1月11日	¥17,940
2012年6月	¥14,170	12月21日	¥17,900	5月15日	¥13,480	1月11日	¥17,250
2012年7月	¥14,240	1月23日	¥17,700	5月16日	¥13,820	1月26日	¥17,330
2012年8月	¥14,200	2月21日	¥16,940	5月16日	¥14,090	4月2日	¥16,200
2012年9月	¥14,200	3月21日	¥16,690	5月14日	¥13,990	4月2日	¥15,470
2012年10月	¥15,210	4月23日	¥16,710	5月15日	¥15,150	4月24日	¥15,550

今週も全限一代高値の更新である。先物は週明けから売り始めたが、あっという間に1,000円下げてくれたな。

ホント、米だけやっている分には、今のところ全勝だ。コメ相場よ、無くなるな！

## [ゴム]

### 今週のゴムの値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
5月14日	266.0	-4.0	279.2	-4.3
5月15日	256.2	-9.8	270.1	-9.1
5月16日	253.0	-3.2	265.1	-5.0
5月17日	258.0	5.0	273.6	8.5
5月18日	260.0	2.0	269.9	-3.7

先週号においては『外部環境が悪いので一段安も無しとは言わないが、ちょっと東京市場は売られすぎか。安値を叩くと、顎を刺される急騰に会うだろう。ここからは突っ込み買いである』とコメントした。

今週の相場展開は、続落した相場が**261.5円(5/17)まで下落**。そこからは戻りも出たが、相変わらず10円も戻ると更に売られる展開が続いている。

#### ○東京ゴム週足

…削除済み…



GW 中日までは、300 円台を維持していた相場だが、あっという間に 40 円下げた相場である。それでも週足を見る限りは、たった 40 円下げただけの相場であり、動く時はあっという間に 200 円幅動くのがこのゴム相場なのだとわかるはずだ。

週足チャートで見ると、今年の上昇相場は単なる戻りであり、タイの市場介入から人気化した相場も 100 円上がってお終い。500 円台で天井を打っている相場は、更なる安値に向かっていく相場だと言えるわけだ。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 5 月	266.0	11 月 25 日	335.0	2 月 27 日	253.0	5 月 16 日	260.0
2012 年 6 月	279.6	12 月 22 日	339.5	2 月 27 日	252.2	5 月 17 日	261.0
2012 年 7 月	324.0	1 月 26 日	342.0	2 月 27 日	254.0	5 月 17 日	265.7
2012 年 8 月	340.7	2 月 24 日	344.4	2 月 27 日	257.7	5 月 17 日	267.3
2012 年 9 月	341.2	3 月 27 日	341.9	3 月 27 日	260.0	5 月 17 日	268.4
2012 年 10 月	307.2	4 月 24 日	317.8	5 月 2 日	261.5	5 月 17 日	269.9

当先のサヤは、5 月限 260.0 円～10 月限 269.9 円と **9.9 円の順ザヤ**。順ザヤ幅は縮小した。

**週末現在の輸入採算価格は、**…中略…

産地の集荷量は、一日当たり 20 トン～30 トンと少ない。

現在のタイの原料価格は 102.20 パーツであり、さほど崩れているわけではない。よって**商社は今週、割安な東京市場をずいぶんと買ったらしいが、その割にはまだ安かった**というのが今の相場である。

国内営業倉庫在庫は、5/10 現在で 436 トン増の 15,198 トン。2 旬ぶりの増加である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、24,000 元割れまで下落。2 月の 29,000 元台からは 5,000 元以上下がっているわけだ。

東京市場が幾ら割安でも、商社なら買えるのだろうが、外部環境が悪すぎて個人は買いづらい展開となっているようだ。

**結論として当方の相場観は、自律反発はあるだろうが、トレンドの転換まではまだ難しいだろう。戻り売り主体で、売り場を探す相場であろう。**

## 〔原油・石油製品〕

### 今週の原油の値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
5月14日	¥55,250	150	¥53,600	110
5月15日	¥59,100	-150	¥53,010	-590
5月16日	¥55,080	-20	¥52,870	-140
5月17日	¥55,100	20	¥53,050	180
5月18日	¥54,100	-1000	¥50,910	-2140

まずは原油から…

先週号においては『リスク資産への回避がないと急騰は難しいのだろうが、すでに1万円下げた相場である。突っ込みは買いで取れるだろうとの判断である』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は週末2日間でまた値を消し、安値では90.93ドルまで下落。昨年12月の安値も切っており、3月の高値からはもう20ドルほどの下げとなっている。

東京原油は、今週も下げ止まらず。週末は50,720円(5/18)まで記録しており、夜間取引でも続落している。

○ NY原油週足(5/17現在)

…削除済み…

週末5/18のNY市場は、前日比1.08ドル安の91.48ドル。安値では90.93ドルまで下げており、90ドル割れも視野に入ってきた。国内換算では15時半比460円安である。

相場は110.55ドル(3/1)を記録した後、すでに20ドル近い下げとなっている。日足ではもう十分に下げた格好であるが、週足ではまだ下げ余地も残っていそうな格好である。

まさかリーマンショックの時にはならないとは思いますが、欧州経済懸念からの信用収縮が起きるようなら、なお下値不安は消えない状況だ。

こうなると、ゴールドマン・サックスがぶち上げた「ブレントで夏場には140ドル目標」と言うのは本当なのか？と言いたくなるわけだ。

当方としては、…中略…

なお週末のロンドンブレントは107ドル台、ドバイ原油は104ドル台である。これらもちゃんと下げている。

5/15現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油週足

…削除済み…

昨年末から上がり始めた相場が、結果的に天井を打ったのが3月。すでに63,550円(3/15)→50,720円(5/18)までの下げ幅は、12,830円となっており、GW後は戻り待ちに戻り無しの状況だ。

買い狙い、買い狙いと言って来た相場が1万円下げ、更に週末はダメ押しのように2,000円下

げたわけだ。

今更売りだと言ってしまうしょうがない話だろうが、5万円は一度割るのだろう。戻り売り相場が続くようなら、45,000円目標なのかもしれない。思った以上に悪い相場だったということだ。

なお一代の動きは以下のとおり。

#### 東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥51,720	12月1日	¥64,380	3月15日	¥47,910	12月19日	¥54,100
2012年6月	¥51,590	1月4日	¥64,020	3月15日	¥51,100	1月4日	¥51,990
2012年7月	¥51,290	2月1日	¥63,810	3月15日	¥51,040	2月3日	¥51,640
2012年8月	¥59,290	3月1日	¥63,550	3月15日	¥51,100	5月18日	¥61,330
2012年9月	¥60,800	4月2日	¥61,900	4月4日	¥50,910	5月18日	¥51,110
2012年10月	¥57,430	5月1日	¥57,710	5月2日	¥50,720	5月18日	¥50,910

結論として当方の相場観は、NY原油20ドルの下落、東京原油12,000円超の下落となっている相場である。想像以上に原油相場の悪さが際立つ展開となったわけで、明確に底を打ったシグナルが出るまでは買えない相場である。欧州経済危機の動向を見極めたい。

#### 今週のガソリンの値動き

	6月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
5月14日	¥68,500	-640	¥63,820	-140
5月15日	¥65,820	-680	¥63,040	-780
5月16日	¥65,750	-70	¥62,820	-220
5月17日	¥66,570	820	¥63,550	730
5月18日	¥64,690	-1880	¥61,530	-2020

続いてガソリンです…先週号においては『ここからの下値は、さほど残っていないとの判断である。押し目買いの好機であろうとの見方である』とコメントした。

今週の相場展開は、軟調な推移の中で17日は反騰したが、週末はまた急落。一気に61,400円の安値まで示現である。

○東京ガソリン週足

…削除済み…

GW明けの暴落からでもすでに3,000円の下げで、3月の高値からは1万6,000円超の下げとなっている。

日足チャートは三尊天井型で、ネックラインを割り込んだ71,000円台からでも1万円の下げ。今週は週足チャートのアップだが、現状では下値の目処も見えない格好である。

先週出たJPモルガンの問題でも、…中略…

一代の推移は、以下のとおり。

#### 東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年6月	¥61,020	11月28日	¥80,590	3月15日	¥60,510	12月19日	¥64,690
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥79,810	3月15日	¥62,500	12月30日	¥64,510
2012年8月	¥66,800	1月26日	¥78,910	3月15日	<b>¥63,830</b>	<b>5月18日</b>	¥64,070
2012年9月	¥75,030	2月27日	¥77,810	3月15日	<b>¥62,910</b>	<b>5月18日</b>	¥630,803
2012年10月	¥74,980	3月26日	¥75,430	3月28日	<b>¥61,980</b>	<b>5月18日</b>	¥62,110
2012年11月	¥69,280	4月26日	¥69,690	4月27日	<b>¥61,400</b>	<b>5月18日</b>	¥61,530

5/18 現在の業者間転売価格は、…中略…

5/12 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、思った以上に悪い展開の相場であり、現状では底値模索が出来ない状況である。フタして相場の転換を待つ以外には無いだろう。

#### 今週の灯油の値動き

	6月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
5月14日	¥63,980	170	¥65,670	40
5月15日	¥63,330	-650	¥64,930	-740
5月16日	¥63,310	-20	¥65,030	100
5月17日	¥63,510	200	¥65,300	270
5月18日	¥61,420	-2090	¥63,000	-2300

最後に灯油です…先週号においては『外部環境が悪いので上昇トレンドに転じるのには時間が掛かるが、ここからの下値もまた限定的の考えである。押し目買い狙いであろう』とコメントした。

今週の相場展開は、週末までは下値ももはや限定的かと思われたが、その週末に急落。62,900円と一気に63,000円台すら割り込む下げとなり、また一気にチャートは悪化である。

○ 東京灯油週足

…削除済み…

3/15の高値75,730円→62,900円(5/18)までの下げ幅は12,830円と、更に下げ幅は拡大した。

先週は「井戸を掘るなら水が出るまで…」とは言ったが、こんな状態では水が出る前に掘削費用が掛かりすぎて倒産しそう。実際井戸掘りなら、銀行もカネを貸してくれるかもしれないが、相場のヤラレにカネを出す酔狂な金融機関など無い。

足元の明るいうちに、両建てでもしてしばらくは様子見であろう。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年6月	¥62,400	11月28日	¥74,200	3月15日	¥58,700	12月19日	¥61,420
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥74,500	3月15日	¥50,660	12月30日	¥61,550
2012年8月	¥63,840	1月26日	¥75,130	3月15日	<b>¥61,360</b>	<b>5月18日</b>	¥61,480
2012年9月	¥73,400	2月27日	¥75,730	3月15日	<b>¥61,520</b>	<b>5月18日</b>	¥61,720
2012年10月	¥74,590	3月26日	¥75,370	3月28日	<b>¥62,190</b>	<b>5月18日</b>	¥62,360
2012年11月	¥70,800	4月26日	¥71,400	4月27日	<b>¥62,900</b>	<b>5月18日</b>	¥63,000

5/18 現在の業者間転売価格は、…中略…

5/12 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、週末の急落がダメ押しなのなら良いが、来週も早晩戻れないようなら下値の目処が立たない。目先は慎重な対応が求められるだろう。

## [為替]

### ○ ドル/円相場週足

…削除済み…

週末の NY タイムでは、一時 78 円台まで円高が進行していた。今はまだ「**円高はあって 78 円台**」と考えているものの、週足で見ると介入で何とか戻した 80 円台も、長い目で見れば単なる円高トレンドの中での小反発というところだ。

本当の意味での円安反転は、一体いつの事になるものなのか？

### ○ ユーロ/円相場週足

…削除済み…

週末の NY タイムでは、100.17 円まで一時円高が進行。3 月の円安時から、すでに 10 円以上の円高/ユーロ安となっているわけだ。

週足チャートだと、全然円高が止まる気がしない線形だ。

**国内商品市場の 3 月以降の下落は、円高で国内は売られる、米国市場は対ユーロでのドル高で売られる…と W の下げになっているわけだ。**

このチャートでは、その流れが変わりそうな気がしないわけで、思った以上に商品相場が下げている一因であろう。

### ○ ユーロ/ドル相場週足

…削除済み…

**ドル高/ユーロ安トレンドは、週足を見るとなおさらハッキリ見える。**ドルが本当に強いのかどうかには疑問もあろうが、資金の流れが超安全資産である米国債、日本国債に向いている中では、このトレンドも仕方がないのだろう。

1%にも満たない金利の優良国債への資金流入では、そのうち資産運用に満足ができなくなるのは必至だろうが、そのカネがどこに廻るのかを見ないといけないわけだ。識者はいずれそれがゴールドを中心とした商品市場に廻ると言うのだが…さて？

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス [info@higenaka.com](mailto:info@higenaka.com)